

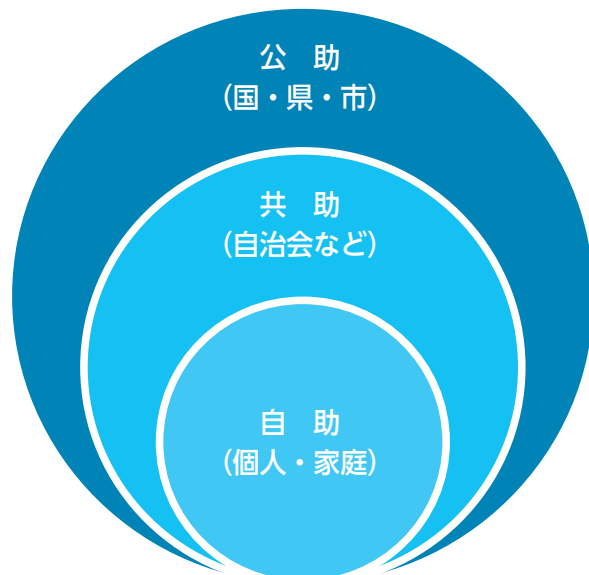
地域づくりってなんだろう？ ー市の地域づくりの考え方②ー



地域づくりの役割は
どうなっているの？

地域づくりの基本的な考え方として、「補完性の原理」というものがあります。これは、個人や家庭が抱える問題は個人や家庭で解決するという「自助」。もしそれが不可能であればご近所や自治会等で解決するという「共助」。共助でも難しいようであれば、基礎自治体の市町村、そして広域行政の都道府県、それでも難しければ最後は国が解決するという「公助」という具合に、なるべく身近なところで解決するという考え方です。

現在市では、市内 20 地区ごとに、「共助」の基盤となる「地域自治組織」の設立を奨励し、多様な支援を行なっています。



「補完性の原理」のイメージ



地域自治組織ってどんなもの？

『地域自治組織』とは、その地域のことを一番理解し、考えている住民や団体が、自らの地域を住みよいものとするために、自主的、主体的に取り組む組織のことです。自分たちのことは自分たちで決め、動かしていく、まさに地域住民が主役となった地域づくりの形です。

具体的には、次のとおりです。

- ①従来の地縁に加え、地域の活動を支える市民団体との連携や世代、性別、立場を超えて話し合いや決めごとを行うことができる組織。
- ②地域住民や団体がひとつの目標を描き、その目標に向かって一丸となって取組を進めることができる組織。
- ③広域的な区域の中でお互いに補完し合いながら、連携した総合的な取組ができる組織。

単なるグループではなく、
目的を共有した地域づくりの
チームが地域自治組織なんだね！！



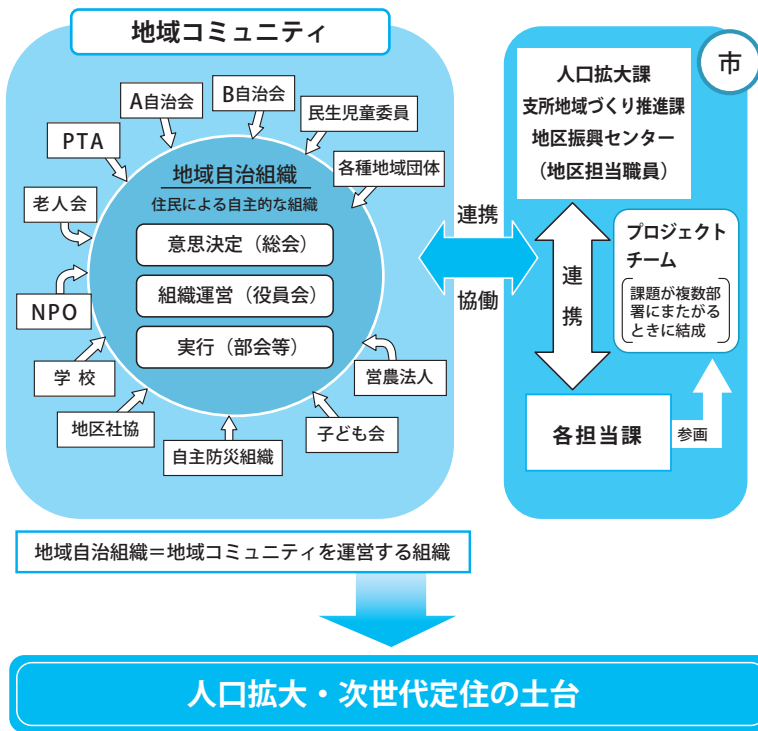


これからの地域自治は
どう考えればいいのか？

地域コミュニティの行き詰まりは、これからますます進んでいくことが予想されています。これは今のところ問題なく活動が維持されている地域であっても例外ではありません。地域が抱える課題を解決し、地域コミュニティを維持していくためにも、従来の地縁による住民同士の結びつきに加え、地域の活動を支える市民

団体との連携や世代、性別、立場を超えて話し合いや決めごとを行う仕組みをつくるのが大切です。また、同時に現在抱えている担い手不足、活動者不足を補うためにも、地域自治組織のような体制づくりが必要となります。そして、市も部局を横断して地域と対話ができるような体制を構築し、一体的に地域を支えることが必要となります。

住民、団体、市がお互いに尊重し合い、その活動を支える協働の仕組みが、これからの地域自治の目指すべき姿であり、このことにより地域の活性化を図り、各地の人口拡大・次世代定住の土台を構築していきましょう！



人口拡大・次世代定住の土台

これからの地域自治のイメージ

〈問い合わせ先〉 市人口拡大課 ☎ 31-0600

平成28年度 協働のまちづくり事業助成金

募集中！

- 趣 旨** 市および地域団体と地域住民とが協働で実施するまちづくり事業を推進することを目的とします。
- 対象団体** 地域団体（地域住民グループ、ボランティア団体、NPO法人）
- 対象事業** 市、地域団体および地域住民が計画段階から参画し協働で実施する、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた事業を対象とします。
- 補助金の額** 市の予算の範囲内で、1地域団体に交付する補助金は10万円を下限額とし、千円未満の端数がある場合はその額を切り捨てます。
- 審 査** 補助金の交付および補助金の額を審査委員会において、申請のあった書類を基に審査を行います。なお、審査委員会において事業概要の説明を求める場合もあります。
- 募集期間** 7月20日(水) まで
- 申請書等** 申請書、募集要項は市ホームページからダウンロードできます。
※詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ先** 市人口拡大課 ☎ 31-0600